

【競泳】

最大参加人数は以下の通りとする。

42名

男子 24名以内（成年、少年A、少年Bそれぞれ10名以内）

女子 23名以内（成年、少年A、少年Bそれぞれ10名以内）

※個人種目に出場しないリレー要員は、男女各5名以内（合計10名以内）

個人種目は指定競技会における各種目の記録を参考に、直近の成績を優先し総合的な判断により選考する。ただし、トップアスリート参加資格特例措置対象者は、上記に関わらず優先する。リレーメンバーは個人種目の選出選手および指定競技会の記録を参考に参加人数制限の範囲内でリレー要員を追加選考して構成する。

本大会において決勝進出が見込めない種目は派遣しないことがある。

なお、成年区分は、トップアスリート参加資格特例措置対象者を除き、東京都選手権にエントリーをすることを条件とする。

【指定競技会】

東京都春季水泳競技大会（2022年4月16日～17日）

日本選手権水泳競技大会（2022年4月28日～5月1日）

関東学生春季公認記録会（2022年5月7日～8日）

東京都ジュニア長水路水泳競技大会（13歳以上）（2022年5月14日～15日）

東京都高等学校春季水泳競技大会（2022年5月21日～22日）

いきいき茨城ゆめカップ（2022年5月21日～22日）

東京都社会人水泳競技大会・国民体育大会東京都代表選手選考会（2022年6月11日～12日）

三菱養和スプリント水泳競技大会（2022年6月12日）

関東学生夏季公認記録会（2022年6月18日～19日）

東京都高等学校選手権水泳競技大会（2022年6月25日～26日）

東京都選手権水泳競技大会（2022年7月9日～10日）

都民体育大会夏季大会水泳競技会・国民体育大会東京都代表選手選考会（2022年7月17日）

関東学生シード校オープン記録会（7月予定）

全国中学校総合体育大会水泳競技大会東京都予選（2022年7月23日～24日）

関東高等学校選手権水泳競技大会（2022年7月20日～22日）

関東学生選手権水泳競技大会（2022年8月5日～8日）

その他、日本水泳連盟派遣国際大会

【飛込】

- ・選考対象競技会を以下とする

成年の部：①関東選手権

②関西選手権

少年の部：①地域高等学校選手権

②全国 JOC ジュニアオリンピックカップ地域別予選会

- ・選考対象競技会にて日本水泳連盟が定める以下の標準点を突破した者

種別	演技数	飛板飛込	高飛込
成年 男子	6	240	230
成年 女子	5	175	175
少年 男子	6	200	200
少年 女子	5	160	160

- ・日本スポーツ協会が定めるトップアスリート参加資格特例措置対象者は選考対象競技会への出場を免除する。ただし、標準点を突破していることを条件とする。
- ・最大枠 4 名の中から標準点を突破した者のうち、最も標準点突破率の高いものを優先し、選手選考委員会にて最終決定を行う。
- ・本大会において得点獲得が見込めない種目は選手を派遣しない場合がある。

【アーティスティックスイミング】

<選考規定>

		得点
選考課題Ⅰ	テクニカルルーティン ジュニア デュエット 規定要素	100点
選考課題Ⅱ	ソロ フリールーティン	100点
		満点
最終結果	選考課題Ⅰ + 選考課題Ⅱ	200点

- 1) 代表選手選考会最終結果を参考に、(公財)東京都水泳協会アーティスティックスイミング委員会にて、第77回国民体育大会および関東ブロック大会派遣代表選手を選考し、(公財)東京都水泳協会常務理事会に推薦する。
- 2) (公財)日本水泳連盟2022年度日本代表派遣選手(第17回FINA世界ジュニア選手権大会)に選考された選手は、本大会は免除される。
- 3) 第77回国民体育大会派遣代表選手は、原則本選考会免除選手を含む上位より2名を正選手に、3位の選手を予備登録選手として推薦する。ただし、予備登録選手は中学3年生～高校2年生の選手に限る。
- 4) 関東ブロック大会派遣代表選手は、原則本選考会免除選手を含む上位より3名を推薦する。ただし、対象選手が日本代表として合宿・遠征中である場合は、その他の選手の中から代表選手選考会最終結果を参考に選考、推薦する。

※代表選手選考会最終結果が同点の場合は、以下の手順で決定する

- ①選考課題Ⅰの得点が高い方
- ②選考課題Ⅰ④の得点が高い方
- ③選考課題Ⅰ②の得点が高い方

【水球】

<少年男子>

- 1) 水球委員会強化事業（ジュニア練習会、U15、U17）での実績を基にして、年度始めに強化対象選手を30名選出。さらに東京都高等学校選手権水球リーグ戦（男子）や関東大会での戦績、監督推薦等により選出する。
- 2) 選出された強化対象選手に対し、国体選手選考会（6月実施）等で能力測定を行う。
- 3) 国体選考会や強化練習会での攻防練習の中で、戦術理解度・実行力・判断力・協調性等を総合的に判断する。
- 4) 上記2および3を元に強化責任者である監督、コーチにより正選手11名、予備登録選手最大4名を決定する。

<女子>

- 1) 東京都高等学校選手権水球リーグ戦（女子）の優勝チームを主軸とし、その他のチームの選手選考および監督推薦により、高校の強化対象選手を選出する。
また、東京都に勤務地のある社会人ならびに東京都在住の社会人東京都に所在地のある高校中学出身の大学生を対象とし強化対象選手とする。
- 2) 選出された強化対象選手に対し、フィールドプレイヤー・ゴールキーパー毎の能力測定を行う。
- 3) 強化練習会を複数回行い、実際の攻防練習等にて戦術理解度、実行力、判断力、協調性等を総合的に判断する。
- 4) 上記2および3を元に強化責任者である監督、コーチにより正選手11名、予備登録選手最大4名を決定する。

【オープンウォータースイミング】

- ①国体オープンウォータースイミング競技出場を希望する選手の中で、2022年国民体育大会オープンウォータースイミング選考対象大会（下記参照）成績を参考に判断する。
- ②選考は、東京都水泳協会選考委員会あたり、人数枠の範囲で選考する。
- ③参加有資格者は、2008年4月1日以前に生まれた者。
- ④大会規則に基づき、下記のどちらかを満たしている選手を選考の対象とする。
 - (1) 2022年4月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、国体標準記録を突破した選手
 - *国体標準記録（1/100秒までを対象とする）
 - 男子 1500m 自由形〈長水路〉17分00秒00、もしくは〈短水路〉16分45秒00
 - 女子 800m 自由形 〈長水路〉 9分40秒00、もしくは〈短水路〉9分30秒00
 - (2) 2021年4月1日以降、日本選手権、本連盟認定大会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した選手
- ⑤編成方針（東京都水泳協会が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。
- ⑥編成人数は、最大2名（男子1名、女子1名）とする（選考日は未定）。

【選考対象大会】

TOKYO OPEN WATER SWIMMING 大島 2022（2022年7月2日～3日）5km

※選考対象大会が中止となった場合は「第26回館山 OWS フェスティバル 5km（2022年7月17日）」とする。